

6月の歳時記

6月の季語：初夏/麦秋/五月雨/梅雨/向夏
・初夏の候 ・向夏のみぎり ・梅雨の季節を迎え など



子供との結びつきを確認 父の日

6月の第3日曜は父の日です。発祥地はアメリカで、母の日が年中盛んになるのに、父の日が無いのは不公平だと考えたドット夫人が、亡父の墓に、白いバラをささげたことが始まりと言われています。母の日のカーネーションほど有名ではありませんが、父の日のシンボルフラワーはバラとされています。

仕事一筋で、家庭での自由時間や子供との時間を持つことの出来ないお父さんには、子供に、お父さんの存在の重要さをじっくり確認させる機会をつくってあげたいものです。



日本特有の習慣 衣替え

衣替えは季節に応じて衣服を着替えることをいい、季節の変化がはっきりしている日本特有の習慣で、古くからの宮中行事でした。

現在では、気候に合わせて何を着ても自由と言う合理的な風潮になっていますが、和服では今もこの習慣が守られていて、その日の気候にかかわらず、6月1日からは「単(ひとえ)」、10月1日からは「袷(あわせ)」と決められています。



梅雨入り宣言の日 入梅

梅雨の季節に入ることを入梅といい、これ以後約一ヶ月間ほど雨が続き、うっとうしい期間になります。

「梅雨」という言葉は、ちょうど梅の実が熟すころ雨が降ることからつけられたものといわれています。

農家にとっては作物に欠かせない雨に恵まれるときで、田植えもこの時期に行われますが、一般家庭では、カビやダニに悩まされたり、食中毒も心配される時ですから、身の回りの清潔や、食品の取り扱いには十分な注意が必要です。



6月の花：くちなし

